

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 二島 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

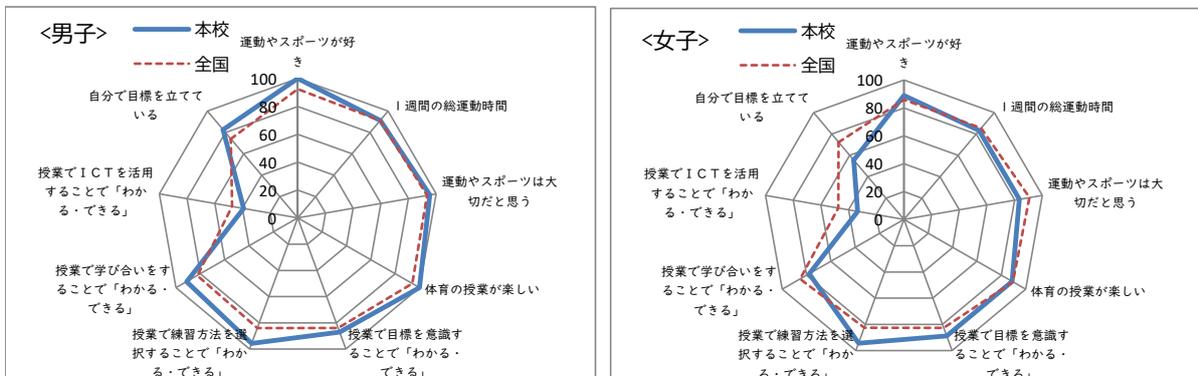
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目		○		○	○	○	○	○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目				○	○	○		○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子は、「ICTを活用」の項目が、全国平均を下回る結果となっている。女子は、「ICTを活用」の項目など全国平均を下回る結果の項目が複数ある。一方「練習方法を選択」や「目標を意識」の項目は、男子も女子も全国平均を上回っており、授業中に考えながら練習をすることの重要性を感じていることが分かる。児童が健康・運動の意義を理解し、実生活に関連付けることを体験している結果ともいえる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

児童一人一人が体を動かす楽しさや喜びを実感し、達成感を得ることができるようになるために、児童相互がかかわりあったり、児童それぞれの実態に応じた段階的な手だてを講じたり、ゲーム性を取り入れたりする授業展開の工夫を行う。
 体育の授業の準備運動では、体力向上プログラムを活用しジャンプアップ運動等を必ず取り入れたり、1単位時間の中で6割以上の運動時間（運動量）を確保したりして、児童の体力向上を図る。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

掲示板に体力テストの目標値を掲示したり、跳躍力の投げる方の向上のための場を提供したりして、児童が体を動かすことに取り組みやすい環境整備に力を入れる。また、3学期の中休みには、「チャレンジタイム」の時間を設定し、体育委員会を中心に全校で持久走を行った。